

「向学の熱」

令和5年度 竜北中学校 学校便り 第6号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://jh.higo.ed.jp/ryuhoku/>

第4回「CSの日:オータム交電会」～中学校区拡大大学校運営協議会の取組～

11月4日(土)に、今年度が4回目となる「オータム交電会」が行われました。この取組は令和2年度から始まっており、「15の春を輝かせるために」を竜北中学校区の活動テーマとし、中学校区拡大大学校運営協議会(竜北中・西部小・東小の3校の代表からなる学校運営協議会 以下:拡大CS)が主体となり行っているものです。

今年度の氷川町全体のCSのテーマが「みんなの夢を育むCS活動」であることを受け、拡大CSでは昨年行った「氷川町の魅力・良さ」について中学生が小学生に伝える活動を継続していくことにしました。中学生にとっては、氷川町の魅力や良さについて調べ学習等で

まとめ、その内容を小学生に伝える活動を通して、「ふるさとの魅力を再発見し、今後の進路選択に夢と誇りを持って取り組む」ことにつながります。小学生にとっては、中学生の発表を聞くことで「氷川町の魅力や良さ」に気付くことはもちろん、「中学生ってすごいな!」「私たちも中学生になったら小学生に伝えてあげたい」といった気持ちをもって欲しいというねらいがあります。



竜東小での授業の様子



竜西小での授業の様子

今年も本校の生徒達は「氷川町の魅力や良さ」について、パワーポイントや自作の紙芝居等を使ってわかりやすく説明したり、説明の内容をクイズ形式で振り返ったりと、小学校の先生のように会話をやりとりしながら、堂々と活動していました。CS委員さんから、「中学生の成長が見られ、ねらいを十分に達成できた」「一緒に活動した大人も充実感を感じた」といったうれしい声も聞かれました。



「地域の方から学ぶ」2年生平和学習の取組より

11月16日、修学旅行における平和学習の一環として、本校の2年生が町内在住の方を講師に招き、第二次世界大戦の流れや戦争体験について学習する機会を設けました。

“戦争の流れ”について話していただいた浜田 洋様は、「戦争の悲惨さや苦しさ、平和は当たり前にあるものではない、平和の尊さを知って欲しい」とおっしゃいました。ご自身の“戦争体験”について話していただいた長尾 欣子様からは、「小学校1年生の夏に終戦を迎え、入学予定の小学校は、ケガをした兵隊さんが一杯で、お寺を借りて勉強をしていた。教科書はほとんど無く、あっても所々が黒塗りのものだった。敵の飛行機が来てサイレンが鳴ると家に逃げ帰っていた。白い服を着ていたら、敵の飛行機から見えるというので、服を脱いで登下校していた。」など、当時のことを生々しく伝えていただきました。

生徒を代表して宮原 一徳くんが、「私たちは、食べるもの・着るものも豊富にあり授業も受けることができる。お二人の話を聞いて、これからは今の当たり前の状態に感謝して生活していきたい。修学旅行を前に貴重な話を聞くことができました。これから寒くなるので、お二人もどうぞお元気にお過ごしください。」と感謝の言葉を伝えました。

この取組は、氷川町遺族連合会会長の長尾憲二郎様のご協力があり実現したものです。ご協力いただいた皆様に深く感謝いたします。この学びを修学旅行、更にこれからの生活へと活かして行きたいと思えます。

